

牛久：学校周辺に見る自然

第8号

ひたち野西近隣公園（ひたち野うしく小学校）

2011年5月12日発行

< 水辺公園の春 ～ ⑥ チョウの仲間 >

4/20(水)、ひたち野うしく小4年生の水辺公園、春の生き物観察。今回は、昆虫類の中からチョウの仲間。4年生の観察からですが、いま3年生は「昆虫のそだち方」の学習をしていますね。参考に。

(1) ミヤマセセリ（めす）（セセリチョウ科）



春の代表的なチョウですが、^{もよう}模様が目立たず、^{が まちが}蛾と間違えられることも^{けっこう}結構あるようです。また、^{たと}例えば3年生で育てているモンシロチョウは、^こさなぎで冬を越し、春から秋にかけ一年間に4～5、6回くらい発生するといわれていますが、このチョウの場合は年に一度、早春にだけ^{うか}羽化するそうです。卵から^{かえ}孵った^{ようちゆう}幼虫は、コナラなどの葉を食べて大きくなり、幼虫のまま冬を越して、翌年の早春、^{さなぎ}蛹から成虫になって^{ぞうきばやし}雑木林の中をとびかうということです。

最近、このチョウは県南・県西部ではほとんど見られなくなってしまったそうです（つくばみらい市立福岡小学校 <http://www.city.tsukubamirai.lg.jp/blog/fuku971/>、『福岡の自然132』より）。

(2) ベニシジミ（シジミチョウ科）



こちらも幼虫で冬を越し、春に羽化したのは明るいオレンジ色、夏のは黒っぽい感じになりますが、秋まで長く活動するので翅がボロボロなのを見かけることもあります。幼虫はタデ科のスイバやギシギシの葉を食べますが、写真は、ギシギシの仲間の葉に産卵しているところ。

その他、うまく写真に撮れませんでした。モンシロチョウとナミアゲハもとんでいましたね。以前、他で撮った写真を参考に載せておきます。【理科支援員 宮内】

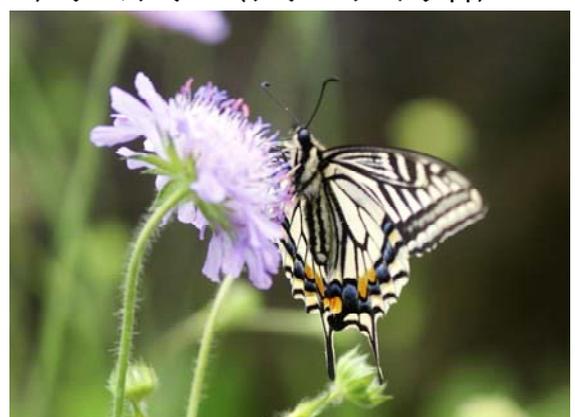
(3) モンシロチョウ（シロチョウ科）



2010/7/9 牛久二中：

幼虫はキャベツなどアブラナ科の葉を食べる。

(4) ナミアゲハ（アゲハチョウ科）



2008/5/19 つくば市：

幼虫はミカン科のサンショウやカラタチの葉を食べる。